



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2013年3月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



北の地域ではまだまだ寒い日が続く中、南の地域では大分春めいてまいりました。2月に、沖縄から早い発芽のお便りが届きましたが、今月になって、岩手県からどんぐりの発根のお便りです。季節の違いの中で、日本固有の多様な自然と環境が育まれます。

子どもたちに伝えたいことです。

(目次)

1. 「JP子どもの森づくり運動」植樹活動レポート
2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - ・どんぐり博士の育苗講座

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
(順不同) (社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会
(社)日本オート・キャンプ協会 (株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部
保育環境研究所ギビングツリー



1. 「JP子どもの森づくり運動」植樹活動レポート

フラグシップ園の植樹活動風景をご紹介します。活動の詳細はホームページをご覧ください。

■兵庫県「同朋にここにこ保育園」

日時：2013年3月19日（火） 主催：同朋にここにこ保育園 植樹場所：園庭



■奈良県「やまと保育園」植樹会

日時：2013年3月26日（火） 主催：やまと保育園 植樹場所：園庭 インストラクター：阪口栄治氏



2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

●滋賀県「崇徳保育園」活動レポート

2012年12月20日に当園5歳・4歳・3歳児55人の縦割りグループによる植え付け会を実施しました。

はじめに、岩手県山田町の子ども達が種拾いに取り組んでくれている様子や被災地の状況が映された啓発DVDを鑑賞し、園長の補足も交えこの活動への理解を深めました。その後園庭で、各グループごとに東北のどんぐりを大切にポットの土の中へ植え付け、水やりを行いました。3年前に当園の周りで拾ったどんぐりは、今では園庭や地域の公園で大きく育ってきています。来年の5月には苗木を無事東北の地に戻せることを、そしてまた被災地の沿岸部に再び緑が戻る日を願うばかりです。 崇徳保育園 園長 谷口瑞石



* 最後に、手をつないで、“どんぐりころころ”を3番まで歌いました。

●岩手県「豊間根保育園」活動レポート

①昨年の10月24日、よく晴れた日にどんぐりの実を三園合同で植えました。早いもので5ヶ月が経過しました。

この冬は雪も多く気温も低かった為か、どんぐりの成長は遅めで、やっとちらほらと根が出てきております。

年長組の子ども達は明日卒園式を迎えます。卒園しても、どんぐりの芽が出てくるのを楽しみに、保育園に足を運んで来てくれると思います。どんぐりが繋いでくれる絆ですね。

豊間根保育園 園長 菅原恵子

②暖かい季節になり、どんぐりの根が少しずつ出てきております。

これからの成長を子ども達と楽しみに過ごしています。

豊間根保育園 中村雅堂



3. 事務局からのお知らせ

1) 春の活動プログラムのご案内

春を迎え、どんぐりが芽吹く季節となりました。

間もなく、昨年秋にどんぐりの種を撒いたポットやプランターから、可愛い赤ちゃんの様な双葉が芽生えてくれるでしょう。そんな季節ならではの活動として、「苗木のお披露目会」の実施をお奨めします。活動を通じて、子どもたちへ、生命の芽生えを祝い、あらためてみんなで苗木を大切に育てていこうという気持ちを共有してくれます。できれば、保護者の方たちにも参加してもらい、そんな子どもたちの活動風景をご覧いただけると良いですね。

そして、是非、事務局宛に活動レポートをお送り下さい。



京都市「ときわ幼稚園」苗木のお披露目会

2) ホームページまで活動情報やレポートをお送り下さい。

事務局ではホームページを通じて皆様の活動を積極的に発信させていただきたいと思っております。

活動情報やレポート、写真をお送り下さい。森づくり活動に限らず、卒園式の風景など、園としての活動であればなんでも結構です。送信先: info@kodomonono-mori.net 〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4-3F「子森ネット」



●どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編③～

前回までは、適切な苗管理のために押さえてもらいたい、土の性質について説明しました。皆さんの園で使っている土の性質が分かりましたでしょうか。さて、春になりいよいよ育苗の始まりです。今号からは、実践編として日々の苗管理について具体的に記していきます。

*どんぐり博士:河内和男(森林インストラクター)



- ・春を迎え、植物たちも冬の休眠から覚め、新たに活動を始める時期です。この時期は、初めて入園した子どもたちに、いろいろ気を掛けてあげなければならないのと同じように、初めて外の世界に芽を出そうとしているどんぐりにも、沢山の気配りが必要です。
- ・地域により異なりますが、どんぐりが発芽するまでにはまだ約1ヶ月ほど間があります。気温の上昇とともに土の中では、どんぐりは懸命に芽を出す準備をしています。その際に必要なのが、多量の水と暖かさです。そこでこの時期は、どんぐりを植え付けたポットやプランターをできるだけ日当たりの良い場所に移してください。
- ・加えて、こまめな水やりが必要になります。水やりの頻度ですが、ここで前回まで話した土の性質が関わってきます。水はけが大変良い土(例:花苗用の培養土等)は、雨天を除くほぼ毎日。水はけの悪い土(例:黒土・粘土質の土)は2日～3日に1回。その中間の土(例:培養土と黒土を混ぜた土等)は、2日に1回程度、たっぷり水をあげてください。ただし天候により土の乾燥具合が異なりますので、土の状態を確認しつつ水やりの間隔を調整して下さい。
- ・どんぐりから芽が出てくる感動の時までいよいよカウントダウンです。一つでも多く発芽して、子どもたちと一緒にお祝いできることをお祈りしています。